

# スターチス新品种「紀州ファインラベンダー」の育成

農業試験場暖地園芸センター

## [研究のねらい]

和歌山県ではスターチスのオリジナル品種開発に取り組み、これまでに「紀州ファインバイオレット」など6品種を育成しました。しかし、花色が紫、黄、白色に限られるため、オリジナル品種の花色充実を目指し、新たにブルー系品種の育成に取り組みました。

## [研究の成果]

1. 県内で育成された品種・系統間の交配により、花色がブルー系で切り花品質、収量性ともに優れた「紀州ファインラベンダー」を育成しました。
2. 「紀州ファインラベンダー」の花色は淡い青紫色で、花房数が多く、枝がやや横に張るため切り花にボリューム感があります(図1)。
3. 「紀州ファインラベンダー」の収量性は高く、11月～3月の総収量は豊産性の「サンデーラベンダー」や「紀州スター」と同等です(図2)。
4. 「紀州ファインラベンダー」は切り花長が長く、花房数が多いため、秀品の割合が高い品種です(図2)。

## [成果の活用面・留意点]

1. 「紀州ファインラベンダー」は2013年7月に品種登録出願公表されています。
2. 種苗の増殖は和歌山県が許諾する種苗生産業者に限ります。
3. 栽培は和歌山県内の生産者に限ります。



図1 「紀州ファインラベンダー」の切り花(上)と花房(下)

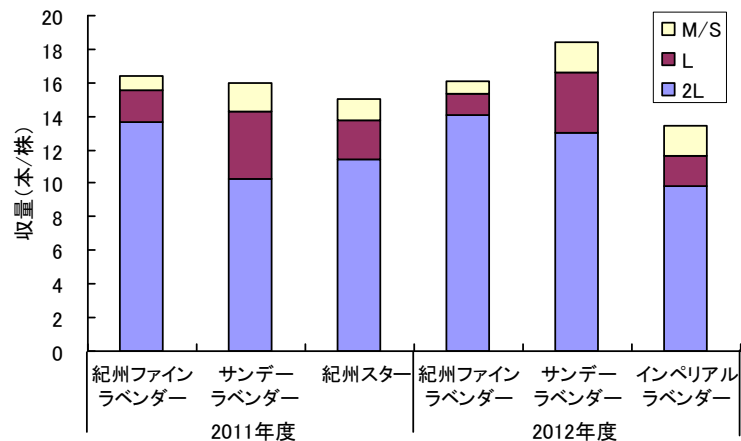


図2 「紀州ファインラベンダー」及び対照品種の収量

調査期間 2011年度：2011年11月1日から2012年3月21日  
2012年度：2012年10月29日から2013年3月15日  
栽培概要 9月上旬定植、株間30cm、条間40cm、2条千鳥植え、最低夜温3℃  
調査場所 御坊市 暖地園芸センター内ガラス温室  
階級 2L：切花長70cm以上、花房数5個以上  
L：切花長60cm以上、花房数4個以上  
M/S：切花長40cm以上、花房数3個以上

(問い合わせ先 0738-23-4005)